

大阪府日本万国博覧会記念公園

所在地	吹田市千里万博公園
概要	昭和45年（1970年）に「人類の進歩と調和」をテーマとして開催された日本万国博覧会（大阪万博）の理念を継承し、都市魅力の創出を図るため、その跡地を緑に包まれた文化公園として、平成26年（2014年）4月より大阪府が一体的に管理・運営している。
面積	2,587,770㎡
入園料	大人250円 小中学生70円（自然文化園・日本庭園共通） ※施設によっては、別途使用料がかかる場合がある。
利用時間	9時30分～17時（入園は16時30分まで） ※施設によっては、利用時間が異なる場合がある。
定休日	毎週水曜日（祝日の場合は翌日） ※4月1日からゴールデンウィークまで及び10月1日から11月30日までの間は無休 ※施設によっては、定休日が異なる場合がある。

主な施設

1 自然文化園

大阪万博のパビリオン跡地を、森、里、水辺の空間として再生し、太陽の塔やEXPO'70パビリオン等の文化施設とともに、住民の憩いの場となっている。

全面積985,000㎡、芝生面積265,000㎡、樹林約511,000本

園内には、EXPO'70パビリオン、自然観察学習館、森の空中観察路ソラード、お祭り広場、遊具（やったねの木、わくわく池の冒険ひろば、エキスポみらいgo!）等の施設がある。

2 日本庭園

大阪万博の政府出展施設として、日本の造園技術の粋を集めて造られた庭園で、上代・中世・近世及び未来に引き継がれる現代の造園様式を示している。

全面積260,000㎡、芝生面積47,600㎡

樹木 123種 約117,000本、草花 50種 約222,000株

園内には、茶室、レストラン、売店等の施設がある。

3 スポーツ・レクリエーション地区

公園外周部に位置し、ガンバ大阪のホームグラウンドである「万博記念競技場」を始め、様々なスポーツ競技やレクリエーションの場として活用されている。

地区内には、万博記念競技場、野球場、弓道場、アメリカンフットボール球技場、スポーツ広場、テニスコート、フットサルコート等の施設がある。

国立民族学博物館

位置	千里万博公園10番1号
目的	文化人類学・民族学に関する調査・研究を行うとともに、民族資料の収集・整理・公開などの活動を進め、世界の諸民族の社会と文化に関する情報を人々に提供し、諸民族についての認識と理解を深めることを目的として設置。
敷地面積	40,821㎡ 建築面積 18,177㎡ 延べ床面積 52,648㎡
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建 展示場、休憩ロビー、図書室、セミナー室、収蔵庫、レストラン、事務室、研究室等
開館	昭和52年(1977年)11月17日
特徴	展示品数約11,000点、地域展示（オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、西アジア、南アジア、東南アジア、中央・北アジア、東アジア）、通文化展示（言語、音楽）、インフォメーション・ゾーン（イントロダクション、ビデオテーク、探究ひろば）、特別展示、企画展示、みんぱくゼミナール（参加無料：毎月第3土曜日）、みんぱくウィークエンド・サロン（毎週日曜日）、研究公演、みんぱく映画会
利用時間	10：00～17：00（入館は16：30まで）
休館日	毎週水曜日（水曜日が祝日の場合は翌日休館）、年末年始12月28日～1月4日